



大塚薬報

Otsuka-people creating new products for better health worldwide

OTSUKAYAKUHO
2026/NO.815

5

CONTENTS

◆ エッセイ 〈カラー 1ページ〉

時の意匠と都市の記憶 第4回

メルヘンチャイム ー福岡市ー

◆ 毎号違ったテーマで、巻頭特集をお届けします。〈カラー 12ページ〉

特集

高橋和彦

ミスターローズ 鈴木省三

「ミスターローズ」と呼ばれた鈴木省三は、130種を超えるバラを作出し、新日本バラ会の設立や種苗法の成立に尽力した日本バラ界の巨人である。生誕113年・没後26年を機に、その人柄とバラへの情熱を紹介する。

◆ 全国の特徴ある病院・医院を取材してご紹介しています。〈カラー 5ページ〉

ちょっと拝見 372

医療法人コミュニテ風と虹 のぞえの丘病院 (福岡県久留米市)

児童精神科を中心に、地域に寄り添う精神科医療を実践

◆ 長年輸液に関わる仕事に携わってきた筆者が、「輸液の歴史」についてまとめました。〈カラー 4ページ〉

輸液の歴史

佐藤英喜

(株式会社大塚製薬工場 元社員)

VIII-2. 輸液の投与方法および容器の返遷

◆ 読者の皆様が“夢中”になっていることを写真と共にご紹介！ 皆様の発表やまとめの場としてもご利用ください。〈カラー 4ページ〉

我夢中人 241

木下 誠 (医療法人むつみホスピタル 副院長) 自宅で楽しむ本格コーヒーのすすめ

◆ そもそも在宅医療は何を目指すのか？ 老後誰もが直面するであろう食の問題に医療従事者はどう取り組むべきか？ 専門家の提言です。〈カラー 4ページ〉

待ったなし！ 在宅医療の食支援 ⑩

前田佳予子

(一般社団法人 日本在宅栄養管理学会 理事長)

今こそ考える

在宅訪問栄養食事指導の意義

◆ 日本各地のさまざまな図書館を紹介します。デジタル時代の図書館の役割や在り方について改めて考えてみませんか？ 〈カラー 4ページ〉

図書館を巡る旅 第19回

赤堀公子

札幌市図書・情報館 [北海道]

◆ 新連載開始！ 「日本の古典」を超えて、次は世界へ羽ばたき、名作を解説！ 〈カラー 2ページ〉

10分で読んだ気になる世界の名作 第4回

中村義裕

負けてたまるか『ロボット (R.U.R.)』

◆ 読者の皆様が愛するペットを写真と共にご紹介！ 犬・猫以外も大歓迎です。 〈カラー 2ページ〉

MY FAMILY No.22

松本正道

(医療法人社団 医啓会 松本クリニック 理事長)

“わが家の小さなお姫様”

◆ 大塚国際美術館に展示している作品の中から、画家の得意とするモチーフを毎回取り上げ、その代表作に触れます。インサイドストーリーをお楽しみください。〈カラー 4ページ〉

名画・時空の旅

磯辺 勝

シリーズ〈モチーフ〉第82回 羊王国イギリスの面影

◆ 以前連載した各地の銘菓・名菓に続き、今回は地元で根付いて製造され続ける加工食品について、風景写真とともにご紹介！ 〈カラー 4ページ〉

みやげ話II 第28回

高見澤秀幸

酒盗 高知県

◆ 歴史に名を残す2人の人物・団体の対立についてのエピソードをご紹介します。 〈カラー 4ページ〉

新・ライバルの日本史 69

佐藤理一

陶 晴賢 vs 毛利元就 奇襲作戦で決着がついた厳島合戦

◆ 大正5年、軍を辞した森鷗外。彼が自宅・観潮楼で過ごす新たな日々を小説で描きます。 〈カラー 5ページ〉

団子坂の先生・森鷗外—観潮楼の日々

山崎光夫

第六話 勲章 (下)

◆ ロックの歴史を語る時、外せない名アルバムがある。ご自身もロックミュージシャンであるサエキけんぞう氏が紹介。 〈カラー 2ページ〉

20世紀ロック名盤メモリーズ Vol.9

サエキけんぞう

(歯科医師)

アウトバーン クラフトワーク

◆ 表紙写真は、読者の皆様からの応募作品です。「ポートレート」「働く人」「人物のいる風景・情景」。カラープリントか画像データで。表紙に選ばれると賞金30,000円。入賞6作品は賞金5,000円。

Best Selection

表紙写真コンクール

入選作品発表

選評：北野 謙 (写真家)

〈表紙〉 濱田道夫氏 (高知県 中ノ橋病院)

〈入選〉 野間口裕子氏 (福岡県大牟田市 社会保険大牟田天領病院)

志村 隼氏 (神奈川県川崎市 聖マリアンナ医科大学病院)

永野幸代氏 (高知県 有限会社朝倉薬局)

志村美咲氏 (神奈川県川崎市 聖マリアンナ医科大学病院)

小島康生氏 (愛知県春日井市 薬剤師)

牟田啓三氏 (長崎市 牟田内科・循環器科医院)